～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行　枕崎市教育委員会
枕崎市中央町 184 番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

大人のつとめ

枕崎市教育委員会　教育長　　木之下　浩一

台風の発生が 31 回を超えるなど気象の状況は不安定ではあるが、それでも、一歩一歩秋が訪れ、朝夕めっきり涼しくなり、過ごしやすい季節になった。18 日の日曜日は、さわやかな秋空の下、市民運動会が開催された。気温は若干高かったが、公民館や職場、学校といったまとまりごとに元気いっぱいに、力強く競技が繰り広げられ、歓声が響き渡る楽しい一日となった。これは、スポーツ推進員や公民館の役員をはじめとする関係の皆様が、準備から当日の運営までご尽力くださり、その「つとめ」を果たされた賜物であり、心より感謝を申し上げたい。

さて、21 世紀が四半世紀を過ぎた昨今、学級の荒れ、不登校、いじめ、問題行動など、将来の担い手である子供たちにとって気がかりな現象が少なからず起きている。その要因は家庭環境や人間関係、社会の変化、子供たちへのスマートフォンの普及など、複雑かつ多岐にわたっており、決して一つの原因だけで説明できるものではない。

私見かも知れないが、こうした現象は子供たちだけの問題として捉えるのではなく、私たち大人自身の生き方や社会の在り方を振り返る機会とすることが大切だと思う。昔から「子供は大人の社会を写す鏡」と言われる。子供たちは大人が口にする言葉だけでなく、日々の振る舞いや人との接し方、物事に向き合う姿勢から、多くのことを学び取っている。人は一人で成長するわけではない。幼い頃には親から、成長する過程では先生や先輩から、社会に出てからは上司や周囲の人々から、直接的、間接的に様々な「教え」を受けながら、人として成長する。時には厳しく諭され、時には失敗を通して気付かされ、また、身近な大人の生き方を手本として、自分なりの価値観や社会の中で生きるための姿勢を身に付ける。そして、「教え」を受けて成長した人が、やがて親となり、先輩となり、後輩を導く立場になる。そこで得た知恵や経験、礼儀や思いやり、責任を果たすことの大切さなどを次世代へ伝えていく。この営みが世代を超えて繰り返されることによって、人が育ち、社会が健全に発展していくのだと思う。

未来を形づくる子供たちがもし、人として大切なことを十分に教えられないまま育ち、自分の言動を振り返って、誤りを正す機会も持てずに大人になったとしたらどうだろうか。その人が親となり先輩となり、人を導く立場となったとき、次の世代に何を伝えることができるのだろうか。自らが学ぶ機会に恵まれなかったために人として大切なことを次の世代に伝えられない。その累積が社会の混迷や人間関係の混乱を招くことにもなりかねない。

感謝すること、約束を守ること、人を大切にすること、自分の過ちを認めて改めることなどの当たり前のこと。こうした大切なことは、言葉で教えるだけでなく、大人自身が実践する姿を通して示してこそ、子供たちに伝わっていく。したがって、子供たちに変化を求める前に私たち大人が自らの行動を見直し、必要なところから改めていくことが求められる。例えば、家庭では忙しくても一日一度は子供の話を途中で遮らずに聞き、失敗を責めるのではなく、改善策を一緒に考える姿を示し、地域では、清掃活動や市民運動会等の地域行事や市の行事に積極的かつ継続的に参加し、子供たちに声をかけながら地域の一員として支え合う姿を伝えることが大切である。

昨今の子供たちの現状を憂えるだけでは問題の解決にはつながらない。まず、私たち大人が自らを省み、家庭、学校、地域が互いに支え合い、身近なところから行動することで、大人自身が手本となる姿を示すことが子供たちの健やかな成長を促し、より良い社会を築く力を育む。

子供たちの未来のために、それを自分なりの方法で伝えようとしているかどうか。混迷する時代であるからこそ、そんな自覚と実践が「大人のつとめ」として我々一人一人に強く求められているような気がしてならない。

11月の行事予定

日	曜	行　事
1	日	枕崎市内小学校運動会
2	月	（小学校運動会振替休日）図書館休館日
3	火	文化の日
4	水	市進路主任研修会
5	木	定例教育委員会　市進路主任研修会
6	金	二十歳のつどい実行委員会②
7	土	
8	日	
9	月	図書館休館日
10	火	桜山小学校宿泊学習（～11日） 枕崎小学校修学旅行（～11日） 枕崎地区地域学校協同活動推進委員会②
11	水	立神小学校宿泊学習（～12日） 市民会館・地区館避難通報訓練
12	木	枕崎市学校音楽祭実行委員会
13	金	枕崎市学校音楽祭
14	土	土曜授業 市PTA活動研究委嘱公開（別府小）
15	日	家庭の日　市民会館休館日
16	月	図書館休館日　別府高齢者学級市外研修
17	火	市教頭研修会⑤ 市地域部活動推進協議会②
18	水	学校備品廃棄 生涯学習県民大学講座
19	木	市・地区校長研修会（予定）
20	金	市フレッシュ研修③　市民あいさつ運動 別府校区地域学校協働活動推進委員会② 市町村による青少年劇場（市民会館大ホール） 市学校保健研究協議会
21	土	青少年育成の日
22	日	図書館休館日
23	月	勤労感謝の日 ふれあい図書館まつり
24	火	別府小学校修学旅行（～25日） 市生活指導研究協議会②　図書館休館日 校外生活指導連絡会②
25	水	学校備品廃棄（予備日） 枕崎小学校宿泊学習（～26日） 立神小学校修学旅行（～26日）
26	木	定例教育委員会　図書館館内整理日 立神校区地域学校協働活動推進委員会②
27	金	青少年問題協議会企画委員会② 社会教育功労者選考委員会 二十歳のつどい実行委員会③
28	土	「ART ORIGINATION 2026」（南溟館）
29	日	ふるさと美化活動 川辺駅伝競走大会（吹上浜海浜公園）
30	月	図書館休館日 金山校区高齢者市外研修

桜山小・中学校研究公開

９月 30 日（水）、桜山小・中学校にて「小中連携教育」の研究公開が開催されました。両校は令和７・８年度の南薩地区・枕崎市教育委員会の研究校に指定されており、当日は市内外から 37 人の先生方が来校しました。「主体的な学びが育むウェルビーイング」をテーマに掲げ、２年間小中合同で研究実践を積み重ねてきました。今回はその研究成果の発表及び、小学校の算数と中学校の道徳の授業を公開しました。9 年間の成長を見据えた様々な工夫により、児童生徒が主体的に学びに向かう姿が見られました。

教育委員会としては、今後も小中の持続可能な連携体制のさらなる定着と発展を図ってまいります。


＜全体会（実践発表）＞


＜小４（算数）の授業＞


＜中１（道徳）の授業＞


＜先生方の研究協議＞

読書感想文審査会

枕崎市読書感想文に、小・中・高合わせて 66 点の応募がありました。厳正な審査の結果、次の皆さんが小・中学校の特選に選ばれました。

小学校　特選

１年　枕崎小：伊瀬知　悠愛さん　桜山小：菊永　怜央さん
２年　別府小：俵積田　橙磨さん　立神小：楠　陽太さん
３年　枕崎小：下木原　花さん　立神小：小湊　結菜さん
４年　別府小：近森　拓土さん　立神小：溝口　笑麻さん
５年　桜山小：上村　心陽さん　別府小：山﨑　日依さん
６年　枕崎小：松﨑　一颯さん　立神小：宮路　弥恵さん

中学校　特選

１年　立神中：鶴之園　桃夭さん　枕崎中：山下　愛結さん
２年　枕崎中：甲斐　咲綾さん　桜山中：久木田　菜緒さん
３年　枕崎中：松野下　紗矢さん　立神中：青野　呉波さん

これからもたくさん本に親しみましょう！

枕崎市小学校陸上記録会

10 月８日（木）塩浜グラウンドで小学校陸上記録会が行われました。市内の小学校５・６年生が全員参加しました。これまで学校で取り組んだ練習の成果を本番で存分に発揮しました。応援の児童・保護者の大声援も後押しとなり、接戦に次ぐ接戦でした。爽やかな秋にふさわしい、はつらつとした陸上記録会になりました。









男女共同参画ワークショップ

別府小学校で、高﨑恵氏を講師に迎え、男女共同参画ワークショップが開催されました。児童は、利き手と反対の手で文字を書いたり、指示を聞いて絵を描いたりする活動を通して、友達の頑張りを認め、失敗したとき励ますことの大切さを学びました。また、「違いは宝物」と捉え、相手の考えを受け止めて「私はこう思う」と伝える対話を学習。互いの気持ちや考えを尊重し、違いを生かして新たな考えを生み出す対話への理解を深めました。



～シリーズ特別支援教育～「子供がパニックになった時」

子どもの「かんしゃく」や「パニック」は、感情のコントロールが追いつかないときに出る SOS です。焦って叱ったり、言い聞かせたりしても効果はありません。次のことを試しましょう。

① **安全の確保と刺激の遮断**
　危ないものを遠ざけ、音や人目などの刺激を減らして静かな環境を作りましょう。

② **共感と見守り**
　「嫌だったね」と子供の気持ちを短く代弁し、落ち着くまで待ちましょう。

③ **落ち着いてからのケア**
　まずは「よく耐えたね」とねぎらいましょう。更に穏やかな状態になったら、「なぜイライラしたか」「次はどうすればいいか」を一緒になって、ゆっくりと考えましょう。

パニックはわがままではありません。「今は助けが必要な状態」と受け止め、落ち着くのを待ってから、次からの対応を考えましょう。